

曲げわっぱの森の概要

1．設定の目的

伝統工芸品である「大館曲げわっぱ」は千年以上の歴史があり、天然秋田杉の細かい木目や自然素材を生かした弁当箱やお盆などの製品は海外にまで定評がある。

曲げわっぱの材料である天然秋田杉の供給量は年々減少しているため、代替材の確保が課題となっており、大館曲げわっぱ協同組合では、高齢級の人工林スギによる代替の可能性について比較研究し、樹齢150年生であれば天然秋田杉に見劣りしないものになることを確認した。

このため高齢級の人工林スギの育成を図るとともに、地域の伝統産業振興と木の文化の継承のための普及啓発、森林環境教育の活用を図るため、「曲げわっぱの森」を設定することとした。

2．場所と面積

- ・場所 大館市長走外2尻合沢外3国有林 133林班い小班
- ・面積 20.45ha
- ・林況 1908（明治41）年植栽、ha当たり蓄積638m³（平成14年）

3．協定締結者

- ・曲げわっぱの森育成協議会
（大館市、大館商工会議所、大館曲げわっぱ協同組合）
- ・米代東部森林管理署長

4．主な活動内容

つる切、枝打ち等の森林整備、 看板設置、歩道作設等木の文化に関する普及啓発、森林環境教育への活用、 木材のPR

5．協定締結期間

平成15年5月1日～5年間（更新）

